

ふくしま教育ニュース

2023年11月 第61号 編集・発行 福島県教育委員会

「学びの変革」実現のための戦略を進めています

県教育委員会では、第7次福島県総合教育計画に基づき、令和5年度から「学びの変革」実現のための戦略（目標に到達するための行動計画）を進めています。前回の第60号で戦略と主な取り組みをご紹介しました。今回はその第2弾です。引き続き主な取り組みをご紹介します。

県立高等学校普通科における特色あるコース制推進事業 教育コースの取組

県立高等学校普通科における特色あるコース制とは、医師・看護師をはじめとした医療従事者や教員、介護・保育などの福祉職を志す**高校生を支援する教育プログラム**です。

8月18日（金）と21日（月）に、教育コースを導入している8校の教育コース希望の1・2年生を対象に、特色あるコース制「教育について考える」福島大学高校生セミナーが開催されました。

18日の1年生向けセミナーには61名が参加。「教育学の視点から」、「特別支援教育の視点から」の2つの講義と、大学院生と学生によるキャンパス案内・学生による活動紹介が行われ、教育や福島大学についての理解を深めました。21日は2年生向けに実施。61名が希望する教科・科目の教材研究・教材作り・授業作り・模擬授業などの実践的なプログラムを体験しました。大学の先生のほかに大学院で研修している現役の教員からも直接、指導・助言を受ける貴重な機会となりました。



講義「教育学の視点から」の様子



「模擬授業体験」の一幕

参加した高校生の声
「教員として子どもを相手にする際の難しさや心がけることを学ぶことができました。今は、失敗を恐れず多くのことに取り組み、たくさんのことを経験していきたい」
「授業というのは教科書に書いてあることをただ教えるのではなく、小学校時代に習ったことを活かしつつ中学の学びにしていこうと学ぶ、生徒に過去を思い出してもらいながら、学習をしていくのが大切だと気がつきました」

この経験を生かし、教育に対する職業観、進路意識を高め、将来本県の教員として活躍することを期待しています。

教育コース導入校	主な取組
橘	市内小・中学校の教員研修会や各種セミナー・研修への参加、講演会等の開催
福島東	小教研・中教研や市教育委員会と連携し、研究会参加等の実践的探究の実施
安積黎明	近隣小中学校における授業参観や授業研究、県内大学との連携
郡山	福島大学学長の講話、教育実習生・聴覚支援学校・東京学芸大学の大学院生との交流
葵	福島大学学長や福島大学附属小学校校長の講演など
磐城桜が丘	地域の小学校等への訪問活動や市の総合教育会議及び教員研修の傍聴など
相馬	教育実習生との懇談会・外部講師による各種講演会、福島大学教育セミナーへの参加
原町	教育実習生との交流や福島大学の先生の模擬授業体験、近隣の小学校訪問

不登校児童生徒支援センター（通称：roomF）



4月13日に、不登校児童生徒支援センター（roomF）を開設しました。

roomFは、福島県（Fukushima）に住む子どもたちの輝かしい**未来（Future）**を前向き（Forward）に考えていくオンライン教室で、令和5年度は福島市と会津美里町の2地区をモデル地区として進めています。roomFには3名のスタッフが常駐し、オンラインを利用して、学校に登校できない状況にいる小・中学生のみなさんと交流しています。主に午前はコミュニケーションを深められるような活動、午後は教科の学習を支援する活動をしています。実際の交流では、福島市にある花見山から映像を配信し、スタッフが出したクイズにチャット機能を用いて答える一場面も。教科の学習では子どもたちの不安な気持ちに寄り添いながら、数学の「四則計算」や理科の「自転・公転」について、自作の教材を使って説明することもありました。

不登校児童生徒など、必要な人に必要な支援を届ける取組が始まっています。



「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクトを 開催しました

8月2日(水)、小学5・6年生を対象としたイベント、「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクトを福島県庁で行いました。今年度は、「わたしにとっての『ふくしまぐらし。』」がテーマ。最初に危機管理センターの見学や防災VR体験を通して、災害から身を守り、安全・安心に暮らすことについて自分事として考えました。福島に移住した方と交流した後、グループごとに、福島で暮らすことについての良い点や魅力は何か、これからどのような福島になってほしいかについて考え、内堀知事や大沼教育長の前で発表しました。参加した10名はみんな堂々とした発表で、内堀知事からは、「本県への思いや提案を分かりやすく伝えてくれました。皆さんの夢や希望を実現できるように頑張ります」との講評がありました。

※令和6年度も夏休み中に開催する予定です。小学5・6年生の皆さん、参加お待ちしております！



グループワークの様子



手を「桃」の形にして内堀知事や大沼教育長と集合写真

福島県算数・数学ジュニアオリンピック



10月22日(日)、小学5・6年生、中学1～3年生を対象に、県内7会場で**福島県算数・数学ジュニアオリンピック**を開催しました。この事業は、本県の復興と子どもたちの夢の実現に向けて、算数・数学に対するさらなる学習意欲と課題解決能力の向上、そして次世代を担う人材の育成を目指して実施しています。

今年度は、約500名が論理的に考えたり、発想力を生かしたりしながら、問題に挑戦しました。参加者からは「難しかったけど、解けたときはすっきりした。」「簡単には解けないからこそその楽しみがあった。」などの声が多数聞かれました。今年度実施した問題も含め、これまでの問題は県教育委員会のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

なお、**成績上位者を先端技術体験に招待**します。福島イノベーション・コースト構想関連の先端技術を有する企業などでの体験活動を通して、科学技術に対する意識を高めていきます。



2023夏 ひかる活躍 ふたば未来学園中学校・高等学校

～若い選手・生徒の活躍が
県民に勇気と感動を
届けてくれました～

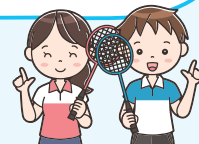
◆全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会

男子団体	優勝	
女子団体	準優勝	
男子ダブルス	第3位	関根翔太・江田和博
男子シングルス	第3位	谷岡大后
女子ダブルス	優勝	須藤海妃・山北奈緒
女子シングルス	準優勝	山北奈緒



◆全国中学校バドミントン大会

男子団体	優勝	
女子団体	優勝	
男子シングルス	優勝	山城政人
男子ダブルス	優勝	宮下翔伍・増田遥
	第3位	品田莉希・植木伸弥
	優勝	畠山想来・溝尾花奈
	準優勝	山北莉緒・芳賀凜歩
	第3位	上野優寿・伴野碧唯
女子ダブルス		



科学の甲子園 ジュニア福島県大会

8月9日(水)に、福島大学と会津学鳳中学校の2会場において、**科学の甲子園ジュニア福島県大会**を開催しました。科学の甲子園ジュニアは、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として実施しています。大会を通して、県内の中学生が科学の楽しさや面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気づき、**科学を学ぶことの意義を実感**できるようにしています。

今年度は、県内7つの中学校から44チーム(132名)が参加。中学1・2年生が3人1組のチームとなり、理科・数学などの複数分野からなる筆記競技で競い合いました。福島大学附属中学校と川俣町立川俣中学校の2チームは、福島県代表合同チームとして、12月8日(金)～10日(日)に兵庫県姫路市で開催される全国大会に出場する予定です。



第11回 特別支援学校作業技能大会 ～夢に向かってテクノチャレンジ2023～

8月4日(金)、ビッグパレットふくしまにて、**作業技能大会**を開催しました。県内の特別支援学校19校から186人が参加し、4つの作業技能検定(ビルクリーニング、喫茶接客サービス、パソコンデータ入力、店舗販売)をはじめ、作業製品品評部門やあん摩施術評価部門などで、日頃の学習の成果を競い合いました。今回の大会は、令和元年度以来の一斉開催となりました。多くの来場者が見ている中で、生徒は緊張しながらも真剣に作業技能検定等に取り組み、「この大会で自分は自信がつかしました。この自信を社会で生かしていきたいです」など多くの学びを得ることができました。また、来場者からも、「人前で堂々と発表する姿に感動しました。その姿に私も頑張ろう!と力をいただきました」など、多くの好意的な感想をいただきました。大会を通じて、**障がいのある方への理解**が深まり、**地域で共に働くための土壌**ができればと考えています。



開会宣言



ビルクリーニング



喫茶接客サービス



パソコンデータ入力

令和5年度 ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

9月9日(土)に、福島市にある自治会館3階大会議室で「**令和5年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト**」を開催しました。**高校生ならではの視点**を活かして、**地域の課題を解決**したり**社会に貢献**したりする魅力あふれる活動がたくさん発表されました。結果は右のとおりです。

最優秀賞は本宮高校のチームです。この活動では、地域の方々の協力を得た高校生が主体となり、おいしい石焼き芋作りに挑戦しました。本宮市内で行われた販売実習は好評を得て大成功!石焼き芋を通して高校生が本宮市を盛り上げていくという地域と一体になった活動が、高く評価されました。

今後も高校生の地域課題解決に向けた学習体験を支援し、発表・顕彰の場を提供することで、日本を元気にするふくしまの高校生を応援していきます。



参加者全員で記念撮影



最優秀賞チームのスライド

最優秀賞(福島県教育委員会より)

本宮高校「総合的な探究の時間」はたらく【石焼き芋班】

優秀賞(福島県教育委員会より)

アスパラ(学校の枠を超えたグループ)
いわき湯本高校遠野校舎 A New Breeze from 遠野
白河鉄道BIG4(学校の枠を超えたグループ)

入選(福島県教育委員会より)

会津支援学校高等部作業班に分かれた学習「クリーン班」
あさか開成高校 3.11 未来への希望
あさか開成高校 Lake Inawashiro is No.1
ありがとうを伝えよう実行委員会(個人)
いわき湯本高校 生徒会
平工業高校 生徒会
田村高校 みはる助っ人隊
ふたば未来学園高校社会起業部

福島大学アドミッションセンター長賞 (福島大学アドミッションセンターより)

あさか開成高校 Lake Inawashiro is No.1
ありがとうを伝えよう実行委員会(個人)
平工業高校 生徒会

社会貢献賞(福島大学アドミッションセンターより)

本選出場の全12グループ

子どもたちの活動や豊かな学びを発信中！

令和5年3月に、「福島県教育委員会公式note 福島県学びの情報プラットフォーム」を開設しました。**すべての県立学校の情報がこのWebサイトにまとまっています！**学校関係者はもちろん、高校生自らが執筆した魅力ある記事が満載。記事は毎日更新されていますので、小中高校生や保護者、県内外の皆さま、ぜひ県教委公式noteサイトをご覧ください。

■掲載情報

- 県教育委員会、福島県、NPOなどの教育に関する取り組み
- 小中学校の取り組み、県立学校の学校生活・探究活動・部活動



ふくしま教育通信2023年4月号
リレーエッセイ「クラス通信風に」
福島県教育委員会教育長 大沼博文

スキ♡マークが
多かった記事は…



ペコ太郎

令和5年度 教育フォーラム を開催します！

福島県教育委員会では、令和4年度から第7次福島県総合教育計画を開始し、令和5年度には「学びの変革」実現のためのストラテジーを掲げて取り組んでいます。そこで今年度の教育フォーラムでは、「学校の在り方の変革」を実践している3校の発表を通して、学校における「魅力ある学校への変革」を展望します。傍聴ご希望の方は、お申し込みください。



- テーマ** 魅力ある学校への変革
- 日時** 令和5年12月22日(金) 13:30～15:30
※受付・オンライン接続開始13:00～
- 開催方法** オンライン(Zoom)
- 申込締切** 12月13日(水) 17:00まで
- 傍聴参加申込方法** 右上の二次元コードからGoogleフォームに必要事項を入力してお申し込みください。※先着250名

福島県立博物館 冬の特集展

「古い道具と昔の暮らし」 —今の生活と比べてみよう—

ちょっと昔の暮らしでは当たり前に使われていた生活の道具。

これらを題材に、私たちの生活の変化について考えてみましょう。

会期 令和6年1月13日(土)～3月17日(日)
※団体見学、解説も受け付けておりますので、ご希望の場合はご連絡ください。詳細は県立博物館のホームページをご覧ください。



氷冷蔵庫

福島県立博物館

福島県立美術館

「美術館への年賀状展」を開催します！

県内の小・中・高校生から「手作り年賀状」を募集します。

賞の授与はありませんが、届いた年賀状はすべて美術館エントランスホールに展示します。



- 募集期間** 令和6年1月4日(木)まで
- 展示期間** 令和6年1月12日(金)～31日(水) *観覧無料
※詳細は県立美術館HPでご確認ください。

ようこそ！本の森へ

福島県立図書館では、約120万冊の本を所蔵しています。たくさんの中からお探しの情報を見つけるためのガイドとして、パスファインダー「本の森への道しるべ」を作成しています。読書や趣味、研究のために役立つテーマごとにまとめてあります。知りたいことにたどり着くための手引きや読書案内として、どうぞご利用ください。

福島県立図書館ウェブサイト
「本の森への道しるべ」↓



県教委公式noteでも紹介しているよ！



相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々な悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方々が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」 **0120-453-141**

〈子どものための24時間電話相談〉毎日24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」 **0120-916-024**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

ママから娘へ。

幼い頃に母がくれた愛情を娘にもあげたくて。

音楽家 32歳
加入歴：29年

娘1歳
加入歴：7ヵ月

※都道府県民共済グループご加入者の声 ※年齢と加入歴は2023年5月末現在のものです。

この安心を、あなたにも。

ご加入者からの信頼によって広がってきた県民共済。
あなたも大切な人へ、すすめてみませんか。

くわしくは
ホームページで



都道府県民共済グループ
福島県民共済

共済取扱団体/福島県認可 福島県民共済生活協同組合 ☎ 0120-282-869 【受付時間】平日 9:00～17:00 〒960-8031 福島市栄町6-6 ユニックスビル9F